

虐待等の困難から子どもを守るための学校に関わる取組について

背景・課題

- 近年、親の子育ての不安や経済的問題などから、子どもの虐待や貧困が社会的に問題になっている。滋賀県の児童虐待相談件数は、直近の10年間で約2.6倍に増加している(H21: 2,802件 → H30: 7,263件)。また子どもの貧困率(全国)は13.9%で、そのうちひとり親家庭の割合(50.8%)が高くなっている。
- こうした困難から子どもを守るためには、日々子どもに関わっている学校現場と、福祉関係の行政機関、家庭、地域や民間団体等の全ての主体が連携して取り組むとともに、未然防止や対応強化に向けた取組をさらに充実していく必要がある。

